Yahoo!ショッピング 人気ストア+5% 5のつく日でもっとお得 Yahoo! JAPAN

YAHOO! JAPAN ニュース dgxsh151 172ポイント お買い物がお得になるクーポンがたくさん

キーワードを入力

トップ 速報 ライブ 個人 特集 みんなの意見 ランキング 有

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地

「息が苦しい…」無痛分娩で異常を訴え、亡くなった31歳女性の無念

6/8(月) 11:01 配信

現代ビジネス

分娩中に呼吸が停止

写真：現代ビジネス

「初めまして」とわが子を抱き寄せるはずだった女性は、その顔を見ることすらできずに、無念にもこの世を去らねばならなかった。

【写真】死ぬ瞬間はこんな感じです。死ぬのはこんなに怖い

アメリカやフランスでは一般的になりつつある「無痛分娩」で起きた医療事故による悲劇。業務上過失致死容疑で書類送検された医師は、いったん不起訴になったが、検察審査会の「不起訴不当」議決を受けて検察が再捜査を実施。検察は近く、起訴するかどうかの最終判断を下す見込みだ。

亡くなったのは長村千恵さん(享年31)=写真 。千恵さんは、第2子の誕生を心待ちしていたが、17年1月10日、産婦人科医院「老木レディスクリニック2」(老木正彰院長・大阪府和泉市)で第2子の無痛分娩中、呼吸が停止した。

千恵さんは同日、別の病院へ転送されたが、酸素不足から到着時には脳死状態と判断され、同月20日、搬送先の病院で死亡した。

19年10月10日の検察審査会による不起訴不当の議決(要旨)は、その理由を次のように記している。

「被害者の死亡という痛ましい結果を踏まえ、本件不起訴記録並びに審査申立書を精査し、慎重に審査した結果、本件被疑者には、患者が自らの命を託した医師に対する信頼を根底から覆すものというべき過失があると判断し、検察官に再考を求

めるため、上記趣旨のとおり議決した」

無痛分娩とは、局所麻酔で陣痛に伴う痛みを和らげ、出産時の疲労を軽くする出産法である。産後の回復が早いなどのメリットから、フランスでは妊婦の6割以上、アメリカでも4割以上が無痛分娩を行っている。

日本でも無痛分娩を選ぶ妊婦が増えており、実施率は07年の2.6パーセントから16年には6.1パーセントに。しかし、その一方で11年以降、新聞に報道されているだけで、無痛分娩による死亡事故が5件、重い障害が残った事故が2件発生している。

常駐の麻酔医がいなかった

千恵さんの死亡事故については、問題点がいくつも指摘されている。

そもそも千恵さんが老木クリニックを受診した理由は、クリニックのホームページの記載を信じたことが大きかった。千恵さんの父親の安東雄志さん(71)が言う。

「当時のホームページには、産婦人科医の老木院長のほかに、麻酔科の医師2名、小児科医1名と非常勤の医師が数名いると記載されていました。また複数の専門医による高度な医療体制と最新の設備を備えていて、緊急時も高度医療機関と連携できると安全性を強調していました。

これを読めば、無痛分娩の麻酔をかけるのは2名いる麻酔医だと誰でも思います。ところが実際には、クリニックには常駐の麻酔医は1人もおらず、記載は嘘でした。千恵の麻酔は産婦人科医の老木院長がかけたのです」

私はホームページの記載内容について、今年2月に老木院長に文書で事実関係を質問したが、その他の質問を含め、老木氏からの回答は一切なかった。

麻酔の実施方法や、容体急変後の対応にも、大きな問題があった。

次ページは：麻酔薬が脊髄にじかに触れた可能性

< 前へ 1 2 3 4 次へ >

1 / 4ページ

【関連記事】
医者が明かす「痛い死に方ランキング」ワースト50
10回流産の末に授かったダウン症のわが子…「産む決意」後の悲しい別れ
美人AV女優と呼ばれた女の絶望的な「その後」

Yahoo!ショッピング 人気ストア+5% 5のつく日でもっとお得 Yahoo! JAPAN

YAHOO! JAPAN ニュース dgxsh151 172ポイント お買い物がお得になるクーポンがたくさん

キーワードを入力

トップ 速報 ライブ 個人 特集 みんなの意見 ランキング 有

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT 科学 ライフ 地

「息が苦しい…」無痛分娩で異常を訴え、亡くなった31歳女性の無念

6/8(月) 11:01 配信

現代ビジネス

麻酔薬が脊髄にじかに触れた可能性

千恵さんが受けた局部麻酔は「硬膜外麻酔」といって、無痛分娩では一般的なものだ。図(左側)の通り、硬膜外麻酔では、腰椎に麻酔針とカテーテルを挿入して、カテーテルから硬膜の外に麻酔薬を注入、硬膜の外から神経に作用させる。

写真：現代ビジネス

このとき気をつけねばならないのは、麻酔針やカテーテルが硬膜を突き破り、麻酔薬が硬膜の内側に入ってしまわないよう、細心の注意を払うことだ。

というのも、硬膜の内側のクモ膜下腔には脊髄が走っていて、麻酔薬が脊髄にじかに触れると、麻酔が通常の10～20倍も強力に効いてしまうからだ。そうなると脊髄全体がマヒして、呼吸と心臓が停止する恐れがある(図右側参照)。

なお千恵さんの遺族側は、麻酔を行った老木院長が、麻酔針の刃面を180度回転させてカテーテルをさらに進めたことで硬膜が傷つき、そこから通常よりも多量かつ高濃度の麻酔薬がクモ膜下腔に入り、脊髄がマヒしたと主張している。

また、千恵さんの遺体を司法解剖した近畿大学医学部法医学教室の巽信二教授による死体検案書には、千恵さんが呼吸麻痺から脳死状態になったこと、その原因が「腰部硬膜下そしてクモ膜下カテーテル挿入」だと明確に書かれている。

応急処置にも重大な問題が

この医療事故を詳しく調査、分析した金沢大学医学部の小川和宏准教授が語る。小川氏は5月26日、事件を担当する検察官と面談して、専門家の立場から意見を述

べている。

「まず麻酔についてですが、このケースでは、カテーテルが硬膜とクモ膜を突き破って内側まで入ってしまったのに、そのことに医師が気づかず麻酔薬を注入したとみられます。それにより脊髄神経がマヒして全脊髄麻酔(全脊麻)の状態になり、呼吸停止を招いたと考えられます」

この点について、第三者の外部の専門医も加わった同クリニックの院内事故調査報告書にも、外部委員の麻酔科専門医から「カテーテル挿入段階ですでに先端がクモ膜下腔に達していた」との指摘があったと記されている。

急変時の医療対応にも重大な問題があった。

事故調査報告書によると、局所麻酔後の15時32分、千恵さんは「少し息が苦しい」と訴え、15時58分には意識不明、瞳孔散大が確認された。16時1分、クリニック側は消防署に救急搬送を要請したが、救急車がすべて出払っていた。

老木氏は胎児を帝王切開で取り出すことを想定し、手術室に千恵さんを移して心臓マッサージを行った。さらに酸素を充満させたバッグ(アンビューバッグ)で酸素マスクに2回換気したが、酸素が漏れたのか、うまくいかなかった。そこで老木氏は、チューブを気管に入れて肺に直接酸素を送り込む人工呼吸(気管内挿管)を試みたが、これもうまくいかなかった。

老木氏は帝王切開で胎児を取り出して新生児の仮死蘇生術を実施。搬送先の病院で「心肺停止母体から出生した児」および「重症新生児仮死」として後遺障害を防ぐ治療を施され、新生児のほうは何とか無事に乗り切った(搬送先病院診療記録より)。

次ページは：適切に処理していれば、救えた

< 前へ 1 2 3 4 次へ >

2 / 4ページ

【関連記事】

医者が明かす「痛い死に方ランキング」ワースト50
10回流産の末に授かったダウン症のわが子…「産む決意」後の悲しい別れ
美人AV女優と呼ばれた女の絶望的な「その後」
「エホバの証人の活動のなかで、最もつらかったこと」元信者が告白
お嬢様が高知東生との「クスリセックス」に溺れるまで

最終更新: 6/8(月) 14:35
現代ビジネス

Yahoo!ショッピング 人気ストア+5% 5のつく日でもっとお得 Yahoo! JAPAN

「息が苦しい…」無痛分娩で異常を訴え、亡くなった31歳女性の無念

6/8(月) 11:01 配信

現代ビジネス

適切に処理していれば、救えた

一方の千恵さんは、16時38分に救急車が到着し、17時10分に最寄りの別の救急病院に搬送。17時15分に救急病院の医師が千恵さんに気管内挿管を施し、17時22分に心拍が戻ったが、瞳孔は散大していた。このことからも酸素不足が心停止の原因だと考えられる。

千恵さんは呼吸停止状態が長かったことから、生命維持に必須の脳幹が不可逆的に損傷しており、10日後に亡くなった。

老木氏も加わった院内事故調の報告書にはこう書かれている。

「(麻酔薬の)投与量は全脊麻を起こすには十分な分量である。その結果、呼吸抑制から無呼吸となり、それに対する酸素化の処置が充分されなかったことから死亡に至ったと結論される」

小川准教授によると、全脊麻になっても、呼吸が弱くなり、呼吸量が減り始めた時点でアンビューバッグや気管内挿管による換気等、速やかな呼吸管理などの適切な処理を行えば、救命できるという。

「ところがこの事件では、アンビューバッグによる換気に失敗し、続けて気管内挿管にも失敗しています。実際に使用されたアンビューバッグを検事に見せてもらった医師に電話で確認したところ、バッグは古くて穴だらけで、使い物にならない状態だったそうです。

気管内挿管についても、搬入先の救急病院では問題なく挿管に成功しています。これらのことから、この医師は麻酔事故の初期対応を行えるレベルになかったと推測されます。つまり、人工呼吸はできない、しない、救急車に頼るのみという前提

で、しかも救命措置ができない環境で、硬膜外麻酔を行っていたものと推察されます」(小川氏)

不可解な「酸素飽和度」の上昇

事故調査報告書は、再発防止のため老木氏に10項目の改善策を示しているが、その一番目には次のように書かれている。

「すべての医療手技に伴う合併症への対応に習熟するための再トレーニングを受ける。特に生命に関わる合併症の初期対応ができるレベルを習得し、その対応ができるレベルを獲得することをその手技を行う最低限の条件とする」

では、なぜ検察は、この事件をいったん不起訴(19年4月)にしたのか。検察は19年4月時点の不起訴理由を明らかにしていないが、検察は、千恵さんの体内の酸素飽和度を示すモニターの数値の変化について、非常に気にしていたという。

血液の酸素飽和度(SpO2)は「パルスオキシメーター」という計測機器を使って調べる。パルスオキシメーターは洗濯ばさみのような形状で、人差し指などを挟んで計測する。健康な人の酸素飽和度は96-99パーセントで、これは十分な量の酸素が体内に取り込まれているということを示している。

これに対して千恵さんの数値は、老木氏が帝王切開のために千恵さんを手術室に移動させることを指示(15時54分)した4分後に、奇妙な値を示した。

数値は15時55分に39パーセント、同56分に20パーセントと下がっていた。ところが同58分にいきなり上昇し、89パーセントを計測しているのである。

先の事故報告書には、この58分時点で、すでに千恵さんの意識はなく瞳孔が散大していたと書かれている。計器の故障や数値の見誤りはなかったという。

千恵さんの父親の安東さんが話す。

「検事と面談した私の代理人弁護士の話では、89パーセントに上がった説明がつかないと、起訴は難しいという趣旨の話を検事はしていたそうです。しかし、事故の原因と結果(脳死)の因果関係は明らかです。私は、検察がそういう些末な数値にこだわり”神学論争”をしていることに強い憤りを覚えました。議論したいのなら、起訴した上で法廷で堂々と主張し合って、白黒つければいいと思いました」

小川氏は、この89パーセントについては、「その後の実験によって解明できた」と話す。

小川氏は5月26日、検事を前に実際にパルスオキシメーターを使って実験してみせた。特許権を持つ技師にも同席してもらい、技師の手首をゴムで縛り、人工的に低酸素などの状態を作った上で、その指の酸素飽和度をパルスオキシメーターで計測した。

「酸素飽和度は60パーセント台を記録していましたが、パルスオキシメーターを指からずらしたところ、たちまち数値が跳ね上がり88パーセント前後を記録したのです。

老木氏が千恵さんを手術室に移動させることを指示した4分後に、それまで39、20と急激に下がっていた酸素飽和度がいきなり89を記録したのは、千恵さんを手術室に移動させるときに、パルスオキシメーターが指からずれたのが原因と考えるのが合理的です。検事も目の前で直接確認して、なるほどとうなずいていました。加えて、検事とのこの面談でのやりとりで、部屋移動に伴ってモニター類の脱着を始めたのが、パルスオキシメーターの数値が上昇したのと同時刻であることも判明しました」

次ページは：検察が医療事故に抱く「トラウマ」

< 前へ 1 2 3 4 次へ >

3 / 4ページ

【関連記事】
医者が明かす「痛い死に方ランキング」ワースト50
10回流産の末に授かったダウン症のわが子…「産む決意」後の悲しい別れ
美人AV女優と呼ばれた女の絶望的な「その後」
「エホバの証人の活動のなかで、最もつらかったこと」元信者が告白
お嬢様が高知東生との「クスリセックス」に溺れるまで

最終更新: 6/8(月) 14:35
現代ビジネス

針で注入する育毛剤はたった３日…？凄すぎ
コスメディ製薬
もっとみる

「まだ一週間なのに？」衝撃的育毛剤が話題
tamagokichi
詳しくはこちら

Yahoo!ショッピング 人気ストア+5% 5のつく日でもっとお得 Yahoo! JAPAN

「息が苦しい…」無痛分娩で異常を訴え、亡くなった31歳女性の無念

6/8(月) 11:01 配信

現代ビジネス

検察が医療事故に抱く「トラウマ」

検察審査会の制度は、検察官の不起訴処分の当否を、無作為に選ばれた11人の国民が審査員となって審査するもので、捜査や公訴に市民感覚を反映させるのが目的だ。

だが起訴するかどうかの権限(公訴権)は検察が独占しており、壁は高い。いったん不起訴にした事件を、検察審査会が「不起訴にしたのは不当だ」と議決したからといって、方針を変えて起訴するのは、恐らく検察のメンツに関わるのだろう。

検察には医療事故に関して苦い経験がある。04年の福島県立大野病院事件で、警察が必要もないのに医師を逮捕して医療界から激しい非難を浴びた。しかも検察が起訴した結果、裁判では惨敗。

小川氏は「それがトラウマになり、大野病院事件以降、検察は医療事故の捜査と起訴に及び腰になっている」と話す。

加えて、再発防止を目的に15年10月から医療事故調査制度が始まり、医療事故を警察、検察が捜査すること自体が大幅に減った。いまでは、医療事故で医師が業務上過失致死傷罪で起訴されることはほとんどなくなっているのが実情だ。

安倍内閣が、黒川弘務・前東京高検検事長の定年延長をごり押ししたとき、「政治の人事介入だ」「法的根拠がない」として痛烈に批判した松尾邦弘元検事総長は、06年5月30日の読売新聞のインタビューに「医療事故については、専門家が再発防止の観点から原因を調査する仕組みを作り、その上で、刑事責任追及が必要なケースを捜査対象とすべきだろう」と述べている。

「検察不信」が、また…

松尾氏の期待通り、原因を調査する医療事故調査制度はできた。しかし検察にとっての「刑事責任追及が必要なケース」の基準は、さっぱり見えてこない。

森友学園への国有地売却問題を巡る財務省の公文書改ざん事件で、検察は、改ざんを命じたとされる佐川宣寿元理財局長らの起訴を見送った。これにより事件の真相は封印され、国民の間に検察不信が広がった。しかも最近になって、改ざんを苦に自殺した職員の詳細な遺書や記録が報道され、不起訴にした検察への不信は強まる一方だ。

「娘の司法解剖は、警察が“事件性が高いので司法解剖させてほしい”と私たち遺族を説得して行われたものです。私たち遺族が老木氏を刑事告訴したのは、その後のこと。捜査を担当した複数の警察幹部は、これだけエビデンスが揃った事案は他にない、と私に話していましたが、検察は不起訴にしました。これでは娘が報われません」(安東さん)

千恵さんの無念の死からすでに3年半。千恵さんが命がけで産んだ女の子と、5歳の姉が丈夫に育っているのが、せめてもの救いだ。

「5歳になった姉の方は、物心がついてきて、よく“お母さんに会いたい”と泣いています」

と安東さんは話す。

なお今回、老木氏に改めて質問書を送ったところ、代理人弁護士から電話で「裁判中であり答えられない。記事の内容によっては法的措置を取ることもあり得る」との返事があった。

検察は、だれもが納得する起訴、不起訴の明確な基準を国民に示すべきである。

長谷川 学（ジャーナリスト）

‹ 前へ 1 2 3 4 次へ ›
4 / 4ページ

【関連記事】
医者が明かす「痛い死に方ランキング」ワースト50
10回流産の末に授かったダウン症のわが子…「産む決意」後の悲しい別れ
美人AV女優と呼ばれた女の絶望的な「その後」
「エホバの証人の活動のなかで、最もつらかったこと」元信者が告白
お嬢様が高知東生との「クスリセックス」に溺れるまで